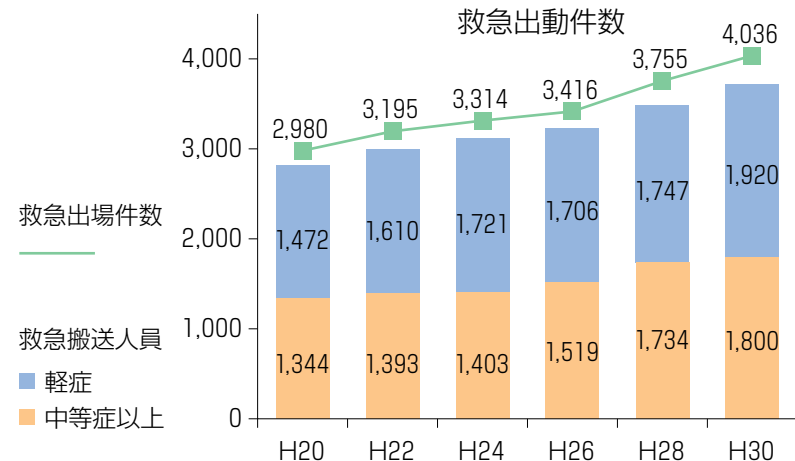


その119番、本当に緊急？

近年、全国的に救急車の出動件数は増加傾向にあり、緊急性のない通報も多くなっています。
三木市においても、平成30年中の出動件数は4,000件を超えて過去最高となり、10年前と比較すると1,000件以上増加しています。また、軽症での搬送件数も増加しています。



通常、119番通報を受けると、現場から一番近い救急車が出動しますが、出動が重なるのと速くの救急車で現場に向かうこととなります。
緊急性がない救急要請が増えると、1分1秒を争う重症傷病者への対応が遅れ、救えるはずの尊い命を救うことができなくなります。
救急車の台数は限られています。もしもの時に、救急車がいち早く駆けつけることができるよう、救急車の適正利用にご協力ください。
問(市)消防署 救急救助課
☎89-0173

こんな場合は119番を

- 頭**
 - ・痛がってけいれんがある
 - ・頭を強く打ち出血が止まらない・意識がない・けいれんがある
- 顔**
 - ・くちびるが紫色
 - ・顔色が明らかに悪い
- 胸**
 - ・激しい咳
 - ・呼吸が苦しそう・弱い
- おなか**
 - ・激しい下痢や嘔吐で水分が取れず食欲がない・意識がはっきりしない。
 - ・激しい痛みで苦しがる
 - ・嘔吐がとまらない
 - ・便に血が混ざる
- 手足**
 - ・手足が硬直している



- 頭**
 - ・突然の激しい頭痛・高熱
 - ・支えなしで立てないほどふらつく
- 顔**
 - ・顔半分が動きにくい・しびれる
 - ・笑うと口や頬の片方がゆがむ
 - ・ろれつが回らずうまく話せない
 - ・見える範囲が狭くなる
 - ・突然周りが二重にみえる
 - ・顔色が明らかに悪い
- 胸・背中**
 - ・突然の激痛
 - ・急な息切れ・呼吸困難
 - ・胸の中央の締め付けや圧迫
 - ・痛む個所が移動する
- おなか**
 - ・激しい腹痛がする
 - ・血を吐く
 - ・便に血が混ざる
 - ・真っ黒い便がでる
- 手足**
 - ・突然のしびれ
 - ・片方の腕や足に力が入らない

上記の症状は一例です。その他、意識の障害、けいれん、のど詰り、じんましん、やけど、事故など緊急の場合は迷わず119番通報してください。詳しくは総務省ホームページをご覧ください。



もしも判断に迷ったら

救急車の適正利用とは言うものの、病気の程度や痛みの感じ方は人それぞれです。そんな時は、電話相談やアプリを活用してください。

- 三木市健康医療相談ダイヤル ☎0120-6821-086
- 子ども医療電話相談 #8000
- 全国版救急受診アプリ (Q助)

また、三木市消防本部(☎82-0119)でも救急病院の照会を実施しています。



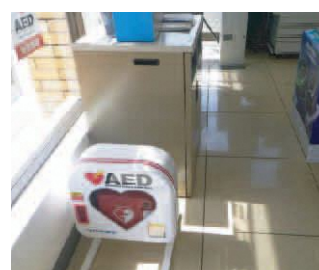
緊急時に備えて

●ドクターヘリ、ドクターカーとの連携
ドクターヘリ、ドクターカーは医療機器や医薬品を搭載しています。通報時に指令員が早期医療介入が必要と判断した場合、救急車の出動と同時にドクターヘリ・ドクターカーの出動要請を行います。通報時の正確な情報が傷病者の命を救うことに繋がります。
ヘリの離着陸時は、一定時間の道路交通規制を実施することがあります。一人でも多くの命を救うため、ご理解とご協力をお願いします。



24時間営業コンビニ全店にAEDを設置

24時間営業の市内コンビニエンスストア全店にAEDを設置し、地域住民がいつでもAEDを使用した救命処置が行えるように設置しています。



救命講習を実施しています

基礎的な心肺蘇生やAEDを使った講習などを行います。IIは筆記・実技試験があります。
●普通救命講習(I・II)

- ▼日時
 - I...3月9日(土) 午前9時~正午
 - II...3月10日(日) 午前9時~午後1時
- ▼場所 消防本部
- ▼定員 先着各30名

問・申込
☎(市)消防署 救急救助課
☎89-0173



救急車の呼び方



119番通報し、救急であることを指令員にお伝えください。順番に指令員がお聞きします。

住所をお伝えください

住所がわからない場合は、目印となるものや大きな建物、交差点名を伝えてください。

症状をお伝えください

誰が、いつから、どのような症状なのか簡潔に伝え、わかる範囲で意識や呼吸を確認してください。

名前・年齢・性別等をお伝えください

わからなければおおよその年齢がまいません。

最後にあなたの名前と電話番号をお伝えください

再度情報収集のためかけなおす場合があります。

通報内容を聞き取りながら、同時に救急車を出動させています。あわてずに正確な情報をお伝えください。